様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

常陸太田市東部地区

令和8年2月

茨城県　常陸太田市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	常陸太田市	地区名	常陸太田市東部地区			面積	28.9ha
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	1,575百万円	国費率	0.493		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（補助幹線道路1号線、補助幹線道路2号線、補助幹線道路3号線、補助幹線道路4号線、（都）栄町西宮線、（都）新宿西宮線、国道349号バイパス、国道349号）、公園（金井近隣公園） 地域生活基盤施設（調整池、耐震性貯水施設）、高質空間形成施設（照明施設）
	提案事業	地域創造支援事業（区画道路1号線、区画道路2号線） 事業活用調査（事業効果分析調査）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設（照明施設）	・事業計画の見直しにより削除	目標、指標、数値目標への影響はなし
	提案事業	地域創造支援事業（区画道路1号線） 事業活用調査（事業効果分析調査）	・事業計画の見直しにより削除 ・＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	目標、指標、数値目標への影響はなし
新たに追加した事業	基幹事業	なし		
	提案事業	なし		

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	令和元年度～令和5年度	―
	変　更	―	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	年間商品販売額		百万円	42,039	H27	48,200	R5		51,717	○	あり	なし	東部地区に市内になかった店舗などが多く立地したことによるものであると考えられる。	
指標2	地区内の新規就業者数		人	0	H30	511	R5		526	○	あり	なし	多くの店舗などが立地し働く場ができたことで就業者を増やすことができたと考えられる。	
指標3	子どもたちの地域への愛着度		%	52	H27	65	R5		81	○	あり	なし	市内の学校において郷土教育を積極的に進めてきた成果であると考えられる。	

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												

4）定性的な効果発現状況

新たな市街地が誕生したことにより、多くの店舗等が立地し、買い物環境の改善及び雇用の場の創出をすることができた。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

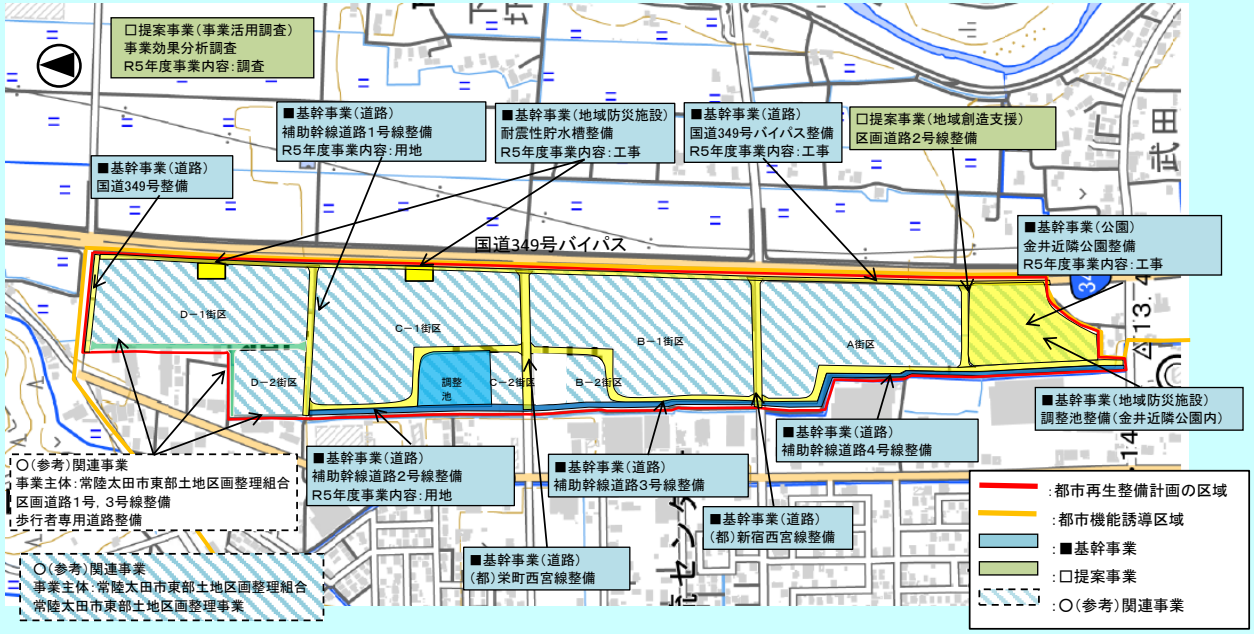
常陸太田市東部地区（茨城県常陸太田市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・常陸太田市中心部における産業振興と商業拠点の形成 ・若者・子育て世代に魅力ある商業施設等の整備と雇用の場の創出による地域経済の活性化 ・子育て世代等の憩いの空間の創出	本市における年間商品販売額	百万円	42,039	H27	48,200	R5	51,717	R7
	常陸太田市東部地区の新規就業者数	人	0	H30	511	R5	526	R7
	子どもたちへの地域への愛着度	%	52	H27	65	R5	81	R7

東部地区全景

東部地区A街区

東部地区B街区



補助幹線道路4号線

補助幹線道路3号線

（都）新宿西宮線

まちの課題の変化	・本事業の整備と合わせて行われている常陸太田市東部土地区画整理事業において、商業施設等が立地し買い物環境の改善、新たな雇用の創出を図ることができたが、一部進出企業が決定していない箇所の早期決定が必要。 ・憩いの場として金井近隣公園の整備が完了し供用開始することができたが、ベンチやトイレなどの設備がないこともあり利用者が少ない状況。 ・金井近隣公園を整備したことにより、ランデブーポイントとしての利用が可能となる防災拠点が誕生。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	**効果を持続させるために行う方策** 市街地を中心とした道路整備 ・引き続き安全で利便性の高い道路環境を確保するため、市街地の整備・改善を進める ・都市計画道路のような骨格道路を整備し、市街地の通過交通の分散化を図り渋滞緩和につなげる **改善策** 歩行者空間の整備・改善・・・既存道路のバリアフリー化等を行い歩行者空間の確保に努める 公共交通の満足度向上・・・・人口の減少や車中心の生活パターンの中、著しい利用者の回復は望めないため、利用者を減少させない対策と満足度向上を重視した改善策を考える 災害に強いまちづくり・・・・・・風水害対策は進んでいるものの地震対策は進んでいないため、引き続き排水エリアの拡大を継続しながら、地震対策を進める